



# 陽風園だより

No. 117

令和7年  
4月発行  
夏秋冬

春



## ■ もくじ

- P2 令和7年度 陽風園重点事業
- P4 各施設重点事業
- P8 感謝録・ボランティア掲示板

仁・愛・心 時代とともに 地域とともに



# 令和7年度 陽風園重点事業

～経営基本計画に基づき、福祉を取り巻く社会環境の変化に対応する～

## 1 経営基盤の強化と施設の充実

### ① 特別養護老人ホームの利用率の向上

利用率向上のため、特養3施設による特養ネットワーク会議で連携を図り、入所のニーズに迅速に対応する。

- 特養ネットワーク会議 年4回

### ② 報酬における取得加算の拡大

サービスの質の向上に取り組むことにより、報酬で取得できる加算の拡大を図る。

### ③ 物価高騰への対応

食材料費等の高騰により、食材の調達が不安定となっていることから、食事サービスの品質を維持するため、食費を改定する。

- 食費1日当たり1,445円から1,500円に改定

### ④ 人件費の上昇抑制

将来を見据えた安定的な経営基盤を確保するため、人件費が園の事業運営に支障をきたすことがないように、総合的な人事労務制度の計画を策定する。

### ⑤ 三陽ホームの整備手法の変更

三陽ホームの整備手法を改築から改修へ変更したことに伴い、大規模改修工事の実施設計を実施する。

- 実施設計期間 令和7年5月から8月末

### ⑥ 事業運営に必要な整備等の計画的な更新

安全で安心な居住環境を提供するため、各施設の老朽化した設備等を計画的に更新する。

- 第二万陽苑 吸収式冷温水発生機更新工事
- 第三万陽苑 屋上防水漏水補修工事

### ⑦ 特別養護老人ホームへの法人内転居の推進

特養以外の入居施設（向陽苑崎浦、向陽苑木曳野、三陽ホーム、ハビリポート若葉・若竹）で、常時介護が必要となった利用者が、安心して生活ができるよう、必要に応じ特養3施設への転居を推進する。

### ⑧ サービス付き高齢者向け住宅における介護体制の強化

入居者の介護状態に応じて訪問介護員（ホームヘルパー）を派遣し、必要な介護サービスを提供する。

### ⑨ ハビリポート若葉の夜間における支援体制の強化

利用者の高齢化や重度化、精神疾患等への支援体制の充実を図るため、夜間帯の職員配置を増員する。

## ⑩ ハラスメント対策の推進

職員の安全・安心な労働環境を整備するため、カスタマーハラスメント等に関するマニュアル等を制定する。

## 2 地域に根ざした質の高い福祉サービスの提供

### ⑪ 利用者のリスクゼロに向けた取組の強化

利用者の誤嚥・誤薬・転倒のリスクを回避するため、特養3施設で無線式センサーマットや介護用高機能ベッドを導入する。

- 無線センサーマット 16台
- 介護用高機能ベッド 22台

### ⑫ 日常生活機能の維持

生活リハビリのため、特養の理学療法士（PT）や作業療法士（OT）を向陽苑崎浦等に派遣し、利用者の日常生活動作（ADL）低下の防止を図る。

- 派遣回数 月1回以上

### ⑬ みずきこども園におけるカリキュラムの充実

子どもたちや保護者のニーズに応えるための取り組みとして、外部の専門教室による指導など、カリキュラムの充実を図る。

- 体育教室 週1回（4～5才児）

### ⑭ あけぼのショップの積極的な活用

あけぼの作業所に併設したあけぼのショップを地域の会合等に利用してもらうなど、地域交流の拠点とする。

- 営業日 月曜日から金曜日（土曜日月2回）  
9:00から16:00

### ⑮ 地域との交流及び連携

研修室やホール等を地域の社会資源として活用してもらうとともに、イベントの開催等を通じて地域との交流や連携を図る。

- 8月 サマーナイトフェスティバル
- 10月 陽風園フェスタ

## 3 能登半島地震を契機とした危機管理体制の強化

### ⑯ 業務継続計画（BCP）の運用

非常災害の発生や感染症の拡大など、緊急時における早期復旧や継続できる体制を構築するため、研修や訓練を実施する。

- 研修及び訓練 年2回以上

### ⑰ 災害対策等の強化

利用者の安全・安心を確保するため、避難訓練

や園総合災害図上訓練等を実施する。

- 園総合災害図上訓練 年1回
- 福祉避難所運営訓練（各施設） 年1回
- 不審者対応訓練（各施設） 年1回

## 4 DX及びSDGsの取組の強化

### 18 質の高い福祉サービスや業務の効率化に向けたDXの推進

ICT等のデジタル技術の活用により業務の改善及び効率化を図り、質の高い介護サービスを提供する体制を確立する。

- DX推進委員会 随時

### 19 科学的介護情報システム（LIFE）の有効活用

介護保険関係施設で導入した科学的介護情報システム（LIFE）により、国からフィードバックされた情報を有効活用し、科学的裏付けに基づいた効率的で質の高い介護サービスを提供する。

- リニューアル時期 R7.12月頃

### 21 電子カルテの導入による診療所機能の強化

利用者の医療情報を法人全体で共有できる仕組みを構築するため、電子カルテを導入する。

- 導入時期 R7.10月頃

### 22 介護機器及びロボットの活用促進

利用者の生活の質の向上（QOL）や介護業務の軽減を目的とした介護機器等を導入する。

- 眠リスクキャン、スマートフォン

### 23 全施設におけるWi-Fi環境の整備

利用者の利便性や業務の効率化を図るため、計画的にWi-Fi環境を整備する。

- 令和7年度  
本園各施設及びハビリポート若葉・若竹

### 24 エネルギー体制の見直し

設備等を更新する際、将来を見据えたエネルギー体制となるよう環境を整備する。

- ハビリポート若竹 照明のLED化

### 25 社会貢献活動の推進

地球環境の保全に向けて、地域清掃や食品ロスへの対応など、園として取り組み可能な社会貢献活動を積極的に実施する。

- 地域清掃活動 随時
- フードドライブ 年2回
- エコキャップ運動 年2回

## 5 仁愛の心と高い志を持つ人材の育成

### 26 職員研修等の充実

人材の確保・定着・育成を図るため、キャリアパス研修を体系的に実施する。

- 陽風園キャリアパス研修 年14回
- 新任職員フォローアップ研修 年2回
- マネジメントトレーニング 年1回

### 27 事業運営に必要な資格取得の支援

質の高い福祉・介護サービスを提供するため、事業運営に必要な資格の取得や更新を支援するとともに、職員の専門性の向上を図る。

- 社会福祉士 1名
- 介護福祉士 9名
- 精神保健福祉士 3名
- 介護支援専門員 8名
- ユニットリーダー 1名
- サービス管理責任者 5名

## 6 報酬改定等への適切な対応と体制の整備

### 28 生産性向上に向けた取組の推進

介護業務の「間接的業務」を改善し、職員の負担軽減を図ることで利用者と接する時間を増やすなど、生産性の向上に取り組む。

- 生産性向上委員会 随時

### 29 協力医療機関との連携の強化

医療ニーズへの対応力向上のため、診療情報を共有する仕組みである「いしかわ診療情報共有ネットワーク」へ参加するなど、協力医療機関との連携を強化する。

### 30 協力歯科医療機関との連携の強化

高齢者施設において、基本サービスである利用者の口腔衛生管理を計画的に行うため、協力歯科医療機関との連携を強化する。

- 口腔衛生管理体制に係る研修会等 年2回以上

### 31 救護施設における支援体制の強化

三陽ホームにおいて、利用者の様々な生活課題に対応するため、個別支援計画書を作成し、福祉事務所との連携及び情報共有を図る。

### 32 救護施設における地域移行推進体制の強化

三陽ホームにおいて、居宅生活訓練事業等により利用者の経済的な自立を促し、地域への移行を推進するとともに、移行後の訪問体制を整備し、必要に応じた支援を実施する。

### 33 障害者施設における地域との連携等によるサービスの透明化・質の確保

ハビリポート若葉・若竹及びグループホームにおいて、サービスの透明化・質の確保を図るため、地域の関係者等で構成された地域連携推進会議等を設置する。

【アイコンについて】  今年度から新たに実施

## 養護老人ホーム 向陽苑 崎浦

### 「健康長寿をめざして 専門講師によるいきいき体操教室の開催」

**今**年は、これまで「いきいきクラブ」として継続してきた認知症予防や健康増進・体力アップを目的とした健康体操や脳トレーニングに加えて、身体機能の更なる維持・向上を図るため、新たに専門講師をお招きし「いきいき体操教室」を開催します。また、外出行事の充実を目的に、美味しいものを食べて楽しんでいただく「崎浦ランチ会」を定期的に計画します。

地域における公益的な取り組みとして、地域の小学校の福祉教育に関わる課外授業を受け入れ、利用者様が児童と交流する機会を持っていきます。

皆様が心身ともに健康で、いきいきとした生活を送ることができるよう努めてまいります。



## 養護老人ホーム 向陽苑 木曳野

**利**用者様一人ひとりが安心して健康的な日々を過ごすため、必要な支援を提供するとともに、地域のセーフティネットとして多様なニーズに応える施設になれるよう努めていきます。

身体的・精神的・社会的な機能の低下を予防し、自立した日常生活が維持できるように今年度も軽体操やミニレクの開催、1日旅行やドライブなど計画的に行うことで、体を動かすこと、楽しみ・意欲を持つことへアプローチしていきます。

医療ニーズが増加傾向にある現状において、健康への支援、これまで行ってきた腸活とともに口腔機能低下（オーラルフレイル）予防の重要性を伝え、皆様の生活が明るく健康で意欲的なものとなるよう取り組んでいきたいと思ひます。



## 特別養護老人ホーム 万陽苑

### 「生産性向上におけるICT機器導入について」

**令** 和6年度の介護報酬改定で生産性向上における取り組みが求められました。業務における「ムリ」「ムダ」「ムラ」を無くし、安全に、正確に、効率的に行い、負担を軽減させる業務改善の取り組みが生産性向上とされています。

万陽苑では、以前より介護ロボットや見守りシステム導入について検討していましたが、今後は生産性向上につながる視点も加えICT機器の導入を考えていくことが必要となります。

今年度は、将来どのようなICT機器を導入してもスムーズに連携できるように、通信機能のインフラ整備を行い、まずは全館Wi-Fi化をめざします。

その後、ナースコールと連携するスマホの導入や介護記録ソフト、様々な見守り機器の導入を検討し業務改善を図るとともに、利用者様にとってもより安全で安心した施設になるよう取り組んでいきます。



## 特別養護老人ホーム 第二万陽苑

### 「開設40周年」

**開** 設40周年を迎えた第二万陽苑。歴史を重ねるとともに、設備も老朽化してきており、計画的に設備改修を行っております。今年度は、冷温水機の更新工事を予定しております。利用者の皆様には安全、安心に生活していただけるよう今後も必要に応じ計画的に更新工事を行っていきます。



## 特別養護老人ホーム 第三万陽苑

**特** 養は終の棲家…とされていますが、在宅復帰に向けても取り組んでいます。

この春に在宅復帰のため、本人・家族と相談しながら、ご自宅を訪問して自活練習内容をとともに考えました。「鍋とか包丁なんて、ここ1年持ったこともないわ」とおっしゃる利用者様と一緒にうどんを作ったり、食器を洗い、掃き掃除や洗濯物干しなどを行ってもらいながら、生活感を思い出してもらいました。

近所に住むお友達との再会を心待ちに、「何とかできそうや」「大丈夫かな?」「寂しくなるね…」「新札ってこれか?!」色々な気持ちが交錯する日々を一緒に過ごし、在宅復帰の日までを指折り数えました。

いざその日が訪れると、お別れの寂しさと合わせて天候も雨。しかし今は新たな門出の日。職員一同で出発式を行わせていただきました。

「ここへ来てから歩けるようになりありがとうございました」と笑顔で第三万陽苑を後にされた利用者様。これからも、利用者様とご家族の気持ちと心に寄り添ってケアをしていきたいと思っています。



## 陽風園地域福祉プラザ

### 「介護記録システム電子化推進について」

**陽** 風園地域福祉プラザでは令和7年度重点事業として、陽風園デイサービスセンター、木越デイサービスセンターの介護記録システム導入について準備を進めていく予定です。

介護記録システムとは、介護サービスを利用する利用者様の情報を記録・管理するものです。手書きでなされていた書類作成が電子端末での入力作業に代わることで、よりスピーディに記録や情報の共有ができます。また、重複して記録する必要がなくなるため、記録業務の効率化が図られケアの質の向上にもつながります。

まだまだ準備段階ではありますが、利用者様が安全・安心に楽しめる環境を充実させ、より良いサービスを提供できるよう業務の効率化をめざして介護記録システムの電子化を推進していきます。



## 救護施設 三陽ホーム

### 「就労支援の強化について」

**三** 陽ホームでは、利用者様の外部就労や地域移行、社会的な自立をめざすことを目的として、箱折りを中心とした室内作業を行っています。利用者様はその室内作業への参加を通じ、他者と協調しながら各々の目標に向かって進んで行く姿勢を養っています。そしてお互いに助け合いと思いやりを持って、ステップアップをめざして取り組んでいます。

しかし、実際に地域移行となると生活面や金銭面からの不安、何をどうすればいいかわからないといった理由で、就労しながら地域移行される方はごく僅かなのが現状です。

そうした背景から、令和7年度は新たに円滑な地域移行と日中活動能力の向上のため、利用者様が就労や作業など

に就くことができる場の開拓と安定した地域定着が図られるよう、就労支援員を配置することにしました。

利用者様の就労活動を補助する機能として、ハローワークへの同行訪問や施設内のWi-Fi環境を用いたタブレット端末での求人情報等の収集、履歴書や職務経歴書の書き方、面接の練習などを支援します。

これらの取り組みを通じて、利用者様の自立を支援し、より良い生活が送れるように積極的にサポートしていきたいと思えます。

## 障害者支援施設 ハビリポート若葉・若竹

**共** 同生活援助（グループホーム）及び障害者支援施設の運営に当たっては、今年度から「地域連携推進会議」を定期的で開催することが義務付けられました。

地域と施設等が連携をすることにより、利用者様と地域との関係づくり、地域の方への施設等や利用者様に関する理解の促進等を行うことが目的です。会議の構成員は、地域の関係者など複数の外部の方、利用者様とご家族様で、会議への出席と施設への訪問をしていただくことで、利用者様や職員と関わりを深めていくためのきっかけとします。

当事業所は、単に事業者に求められる義務として受け止めるのではなく、利用者様がその人らしく安心して暮らすことができるよう、地域の皆様と連携し合う関係をつくるのが大切であると考えています。



## 就労継続支援B型 **あけぼの作業所**

### 「あけぼのショップの利用促進」

**あ** けぼの作業所に併設したあけぼのショップは、タウンカフェとしてどなたでも気軽にご利用いただけます。

地域の皆様の交流、散歩の休憩、のんびりと読書、仕事や勉強、各種団体の会合などあらゆるシーンでご利用いただけるスペースとなっています。現在、地域町会の会合、金沢市地域包括支援センターのオレンジカフェなど定期的に利用されています。

今後も、地域の方がつながりを持てる場所として、子供から大人までたくさんの皆様にご利用いただけるよう取り組んでいきます。

また、あけぼのショップでは、当施設の焼菓子や漬物をお買い求めいただくことができます。ぜひお気軽にお立ち寄りください。



営業日時

月曜日から金曜日  
(土曜日 月2回程度)  
9:00 から 16:00

## 認定こども園 **みずきこども園**

### 「体育教室の開設」「食育の推進」「森のこども園」

**お** 仕事と子育てを両立している保護者にとって、子どもの習い事については時間が取れず、諦めてしまう声も聞かれます。

そこで昨年度から夕方の時間に、4・5歳児が専門的知識を持つ講師の下、体育教室を始めました。運動を通して挑戦し、あきらめない心や仲間意識も育まれています。

**食** 育の推進については、夏野菜を栽培し成長を観察したり、加賀野菜で有名な五郎島金時を収穫したりするを楽しみます。

土との触れ合いを通して採れた野菜を使って、年齢や季節に応じたクッキングを行い、食べる意欲もどんどん高めていこうと思います。

園での給食で気になる事のひとつに、食物アレルギーへの配慮が挙げられます。除去食や代替食などにより、食物アレルギー対策にもできる限り万全を尽くしています。

また年長児は給食スタッフと毎朝、お手伝いとしてその日の食材の下準備を一緒にし、年下児に今日の食材の紹介をしています。

**3** ・4・5歳児が専門のインストラクターの指導の下、自然を体験するカリキュラムを経験しています。

スタート時の3歳児は親子で体験します。自然全てに関心を持ち、知識を深め、自然と仲良くできる心を育てていきたいと思っています。



volunteer message board  
ボランティア  
掲示板

金城相撲甚句会



みんよう麻の会



崎浦 社会貢献活動



3月11日  
南小立野小学校へぞうきん寄付

感謝録 1月～3月

(順不同・敬称略)

◆ ボランティア

- ひがしMサロン 代表 林田 孝一
- ほたるの会 代表 藤原 光恵
- 一般社団法人 日本相撲甚句会所属  
金城相撲甚句会 轟 健正
- 民謡あじさい会 津軽三味線小林三絃会  
(財) 日本民謡協会認定教授 会主 木田 秀輝峰
- とっていー 代表 戸田 恵
- 有明紋歌謡ショー 新畑ミュージック企画 新畑 光文
- 浅田あきら一座「希望の会」歌謡・舞踊ショー
- みんよう麻の会

◆ 寄付物品の部

- 松田 忠秋

◆ 寄付金の部

- 西田 清光
- 崎浦ボランティアの会
- 金沢市崎浦地区町会連合会 会長 上森 弘
- その他匿名7名

ご厚意ありがとうございました。

◎ 施設開放〈本園研修室等〉

- 三口新町東町会 花里町会
- Mサロン コーラスアップル
- 三口新町南町会

◎ 施設見学

- 松の実園 (あけぼの15名)

◎ 実習・体験

- 地域看護活動基礎実習  
(金沢大学医薬保健学域保健学類看護学専攻) (プラザ30名)
- ソーシャルワーク実習Ⅱ (金城大学) (三陽2名)
- 臨地実習Ⅱ (給食経営管理論分野) (北陸大学)  
(ハビリ2名)
- 介護等体験 (金沢学院大学) (あけぼの1名)

◎ 社会貢献活動

- 南小立野小学校ふれ愛りサイクル (本園)
- 内川スクールサポート隊 (第三・ハビリ)
- 内川ふれあいりサイクル (第三・ハビリ)

苦情受付状況について

令和7年1月から3月の間に苦情はありませんでした。今後も何かお気づきの点がございましたら、お気軽にお声がけください。